

吹田貨物ターミナル駅専用道路への新ゲート設置について

アサヒビール吹田工場から一般道路を經由せず、直接吹田貨物ターミナル駅専用道路に出入りできる新ゲートを設置することにより、環境負荷の低減や歩行者の安全対策、交通渋滞の緩和が見込まれることから、新ゲートの設置を認める方向で協議を進める。

1 計画概要

- ・現在、アサヒビール吹田工場で製造された製品の輸送については、一部貨物輸送を行っていますが、その輸送経路は着手合意協定書に基づき、大きく迂回して吹田貨物ターミナル駅へトラックで運搬しています。

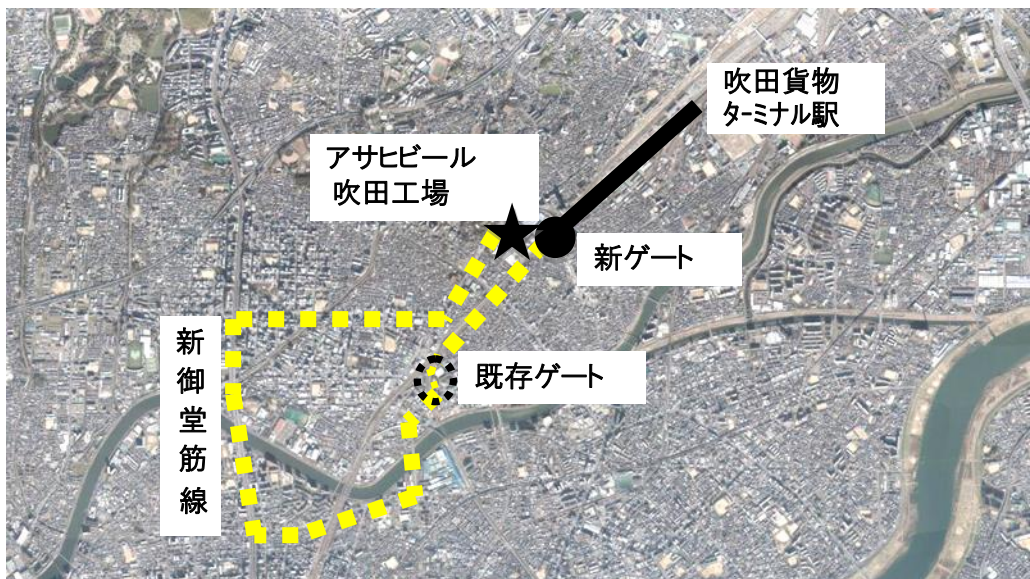
運行経路：アサヒビール～大高京線～内環状線～新御堂筋線～大阪市内

～新大吹橋～十三高槻線～貨物専用道路～吹田貨物ターミナル駅

- ・輸送距離の削減による環境負荷の低減や歩行者の安全対策、交通渋滞の緩和を目的に、アサヒビール(株)よりJR貨物を通じて、新ゲートの設置が提案されました。
- ・新ゲートをアサヒビール吹田工場裏（JR吹田駅ホーム前）に設置することで、一般道を通りせず、直接専用道路から出入することが可能となります。

2 新ゲートの設備概要

- ・通行車両を自動カウントし、既存ゲートへの計数を表示（既存計数表示と併設）
- ・基本的にターミナル駅への運搬のみに利用（往復約70台/日見込み）し、専用道路出入口方面には走行しない
- ・遮断装置や監視カメラを設置し、誤進入や逆走行等を防ぐ
- ・通行台数約70台/日は専用道路の通行台数1000台/日に含む



————— 新ゲート設置後のトラック運行経路
 - - - - - 新ゲート設置後に削減されるトラック運行経路

3 周辺市民への説明状況

- J R 貨物から下記の報告を受けました。
- ・吹南連合、吹二連合、岸部連合自治会
良い方向へ変わる計画案のため、説明会の開催ではなく、資料配布（回覧）での対応でよいとの意見から説明会は開催していません。
 - ・吹一・吹六連合
良い計画案であるが、アサヒビール等から直接説明を聞くことのできる説明会の開催を希望されたことから 10 月 28 日に説明会を開催しました。
説明会の主な意見は以下のとおりですが、計画案に対しての理解は示されました。
(主な意見)
 - ・現在の吹田貨物ターミナル駅の貨物取扱量について
⇒ (J R 貨物) 年間貨物取扱量 65 万 t、貨物関連車両の 1 日の最大通行台数は H28 年 3 月に 941 台、その他の月は 600 台~700 台
 - ・今後、他に出入口を設置するような案が提案された時の取扱い
⇒ (市) 着手合意協定書に違反していないこと及び計画案にデメリットがない場合には協議する。
 - ・アサヒビール吹田工場から貨物ターミナル駅に運搬を行った車両がアサヒビール吹田工場に帰らず、専用道路出口から出ていくようなことはないのか
⇒ (アサヒビール) 貨物ターミナル駅への運搬は主に専用の CNG (圧縮天然ガス) 車両を使用する予定
⇒ (市) このような事態が発生しないようルール化してもらう。

4 今後の方向性

- 市としては、下記理由により新ゲートの設置を認める方向で協議を進めます。
なお、本案は協定に定めのない事項に該当することから、協定書を締結した関係 5 者での協議により結論を定めます。
(関係 5 者：大阪府、吹田市、摂津市、鉄道・運輸機構、J R 貨物)

【理由】

- ・環境負荷の低減や歩行者の安全対策、交通渋滞の緩和及びが見込まれる案となっている。
- ・吹田貨物ターミナル駅（仮称）建設事業の着手合意協定書の内容に反する計画案とはなっていない。（協定書の定めのない事項には該当）
- ・吹田市環境まちづくり影響評価条例に基づく事後監視は終了しているため、条例上問題はない。
- ・周辺市民からは新ゲート設置に対する反対意見がない。